

平成27年度 決算公表

図財政課

(TEL 71・2005 FAX 72・1340)

経営管理課(公営企業会計に関すること)
(TEL 71・2271 FAX 72・3176)

平成27年度の各会計の決算と、決算を元にした市の財政状況などをお知らせします。

平成27年度一般会計の当初予算は、「重点項目に沿った年間予算の編成」や「前例踏襲主義の排除」など7つの基本方針を定めて編成を行い、417億4000万円を計上しました。決算は、歳入420億7500万円、歳出412億8600万円となりました。

一般会計決算の前年度との比較

平成27年度一般会計歳入決算額は、前年度対比3・5%減の420億7500万円、歳出決算額は前年度対比2・6%減の412億8600万円、形式収支は7億8900万円となりました。翌年度に繰り越すべき財源1億1200万円を除いた実質収支は、6億7700万円の黒字となりました。

歳入

個人市民税は、納税義務者の減少により1500万円の減額、法人市民税については電子部品デバイス製造業、

自動車関連製造業の落ち込みと税率変更により2億9700万円の減額となりました。

地方消費税交付金は、消費税率の改定により7億3400万円の増額となりました。地方交付税は、1億7300万円の増額となりました。

使用料および手数料は、第3子の保育料無料化事業などに伴い6600万円の減少となりました。

国庫支出金は、地域住民生活等緊急支援のための交付金(地域消費喚起・生活支援型、地方創生先行型)事業の繰越明許費などにより3億4400万円の増加となりました。

財産収入は、市有地や大天荘の売却により1億5000万円増加しました。

寄附金は、ふるさと寄附が好調で7億4600万円増加しました。

額になりました。

土木費は、下水道特別会計繰出金2億6000万円の増額などにより、4億8100万円の増額になりました。

消防費は、デジタル同報系防災行政無線整備工事4億100万円、防災広場整備工事3億4500万円の減額などにより、6億1800万円の減額になりました。

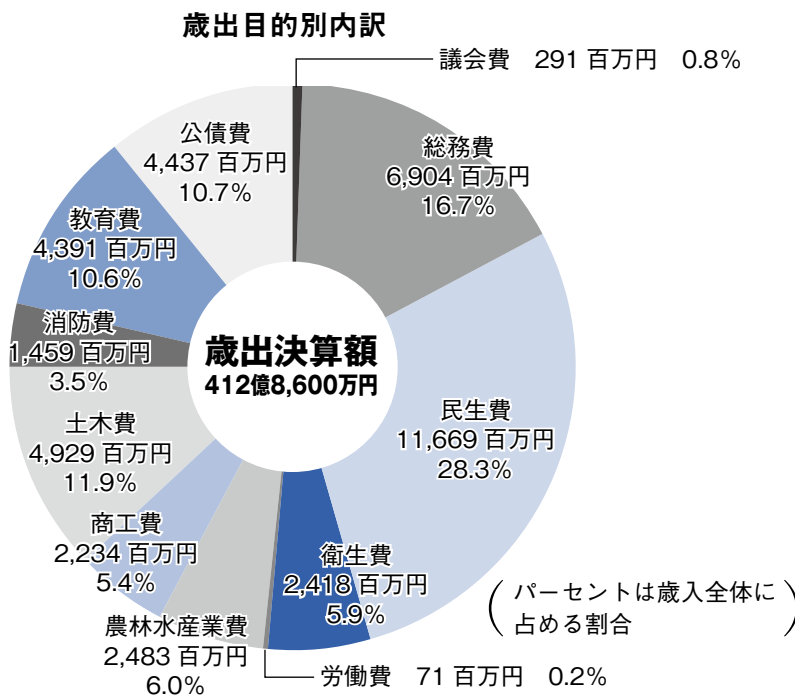
教育費は、豊科公民館改修事業3億4200万円、穂高幼稚園大規模改造1億5300万円の増額に対して、穂高会館耐震補強工事9億2700万円の減額などにより3億2300万円の減額になりました。

(パーセントは歳入全体に占める割合)

(パーセントは歳入全体に占める割合)

平成27年度 一般会計の歳出 (前年度対比)

歳出 412 億 8,600 万円 (2.6%減)



●グラフの説明

歳入 (内訳)

地 方 税

市民税や固定資産税など

地方交付税

全国どここの市町村でも一定のサービスが受けられるようにするため、人口や税収などに応じて国から配分される普通交付税と個別の財政需用に対する特別交付税

国県支出金

市の事業に対し、国や県から交付された助成金

そ の 他

貸したお金の返済金や預金利子など

市 債

施設整備の財源となる市の借入金

譲 与 税 等

国が徴収した税の配分金など

歳出 (内訳)

議 会 費

議会の運営に使う経費

総 務 費

人事、徴税、戸籍、選挙、交通安全など、市の総括的な事務事業に使う経費

民 生 費

障がい者福祉、児童福祉、高齢者福祉、福祉医療、国民年金など福祉全般に使う経費

衛 生 費

健診や予防接種、ごみ処理など、安全で衛生的な生活のために使う経費

農林水産業費

農道や農地の整備、農業や林業の活性化などに使う経費

商 工 費

商工業や観光の振興に使う経費

土 木 費

道路、橋りょうや河川、公園の整備運営などに使う経費

消 防 費

消防活動・水防対策に使う経費

教 育 費

教育全般に使う経費

公 債 費

市が借入(市債)した元本の返済費用や利息の支払い